

第1・2回検討会での主な意見について

【第1回検討会】

（1）九段中等教育学校の現況

- ① 「九段探究プラン」により、グローバル・STEAM・アントレプレナーシップの3つを柱に、千代田区の教育資産を活かしながら探究的な要素を高めていく。
- ② リーディングDXスクール生成AIパイロット校の指定、高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）の認定、令和6年度教育課程実践検証協力校事業「E-Assessmentに関するもの」のパイロット校の指定を受けている。
- ③ 縁のある人物として、「湯野正憲先生」という剣道の分野で高名な方が、九段中等教育学校の前身である都立九段高等学校で教員をされていた。

（2）都立中高一貫校の受検及び特別枠の状況

- ① 全体的に受検倍率が落ちているが、併設型ではすべての学校で1クラス増やしており、定員が増加したため倍率は低下しているが、受検者数が増えているところもある。
- ② 白鷗中学校の特別枠は、日本の伝統文化を大事にするというスタンスをもっている。伝統芸能の能力に秀でた小学生が、伝統芸能を続けながら学校の勉強もしっかりしていく受け皿となっている。
- ③ 小石川中等教育学校に自然科学の特別枠がある。スーパーサイエンスハイスクールでもあり、学校で育てられる部分がある。同じ特別枠でも、能力をさらに伸ばすものと受け皿となるものがある。
- ④ 区立の中高一貫校は個性化が必要である。受検でも個性化は必要で、他校と比較し魅力を感じてもらう必要がある。選んでもらえる特徴をもった特別枠を設ける必要がある。
- ⑤ 受検の形態というのは、学校から小学校へのメッセージといえる。九段中等教育学校はこういった児童を求めて、どう育成していくのか、そこに結び付く特別枠になるとよい。

[第2回検討会]

(1) 他自治体及び私立中高一貫校の特別枠の状況

- ① 聖徳学園のプログラミング入試で活用されているマイクラフトは興味深い。
- ② 私立中高一貫校の特別枠では、傾向として国際的な視点のものが多い。

(2) 九段中等教育学校受検動機等アンケート結果

- ① 生徒、保護者とも、英語教育が受検を決める大きな理由となっている。
- ② 小学校でも英語教育に力を入れている。英語に対する興味、関心が高いことも、英語教育の回答率が高い要因と考えられる。
- ③ 九段中等教育学校の魅力として、保護者の中でキャリア教育がトップになっている点は見逃せないところである。
- ④ 九段中等教育学校では比較的「理科」に力を入れており、観望会や夏期講習会には理科好きの児童が参加している。そのような児童を対象とした入学者選抜も面白い。

(3) 九段中等教育学校の入学者選抜における今後の方向性

- ① 特別枠を作るのであれば、特別枠生徒だけのカリキュラムを作り私学に対抗するのか、九段中等教育学校の特徴的な教育を受けたい児童を受入れるのか。目的により色々な形がある。
- ② 特別枠を設ける一番の目的は多様性の確保である。
- ③ 九段中等教育学校では英語教育の実績があり、グローバル人材を対象とした特別枠という考え方があり。また、トップアスリートを対象とした特別枠などもある。リーディングDXを絡めた特別枠も面白い。
- ④ 特別枠を考える際は、区立小学校や中学校とのつながりを重視することが必要であり、多様性の確保という点では、多様な入試形態が必要である。
- ⑤ スポーツで受け入れるのであれば、超一流の指導が受けられるといった環境が必要となる。指導者、環境、機材等を整える必要がある。九段中等教育学校で育てるのか、受け皿なのかで、かなり準備が違ってくる。

- ⑥ 児童の可能性を活かせる、特色ある特別枠となると良い。能力を活かしながら過ごすことで、他の生徒にも好影響が出ると良い。
- ⑦ 入学希望者の増加につながることも重要である。多様性の確保、九段中等教育学校の魅力や強みが対外的にアピールできる特別枠になると良い。
- ⑧ 区立だからこそできることを考え、今あるものをさらにバージョンアップして活かしていくと良い。
- ⑨ 特別枠を設ける場合、その生徒をどう伸ばすかは大事だが、別コースを作るのは少し違う。他の生徒にも影響を与えてほしい。
- ⑩ 九段中等教育学校がもつ特徴の中で、こういった特別枠を設けるのか。日本武道館があるし、皇宮警察もあり、そういったところと連携を図ることができる。
- ⑪ グローバル、STEAM、アントレプレナーシップがあり、ベースには教育DXハイスクールがある。生成AIは全国トップレベル。そういった特徴を活かせる。
- ⑫ 公立であることも忘れてはならない。公立なのにここまでできるのか…ということも大事
- ⑬ 世界で活躍できる人材の育成は、東京都教育委員会でも目指している。多様性の確保という点では、スポーツに着目する考え方もある。スポーツに秀でた児童を受入れることで、どのような生徒に育っていくか、そのような視点も特別枠を設ける理由の一つになる。
- ⑭ 区内小学校の児童が、九段中等教育学校に入学したいと思える特別枠になると良い。英語や理科を募集の中心に据え、リーダーとして育成できる児童に入学してもらいたい。